

特定非営利活動法人 会員誌

ふれあいサポート館アトリエ



⇒E-mail fureainpo@gmail.com
⇒ホームページ
<http://www.fureai-support.jp/>



4・5月号
令和3年4月21日

■法 人 事 務 所・ア ト リ エ TEL 0244 (36) 5420
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8 FAX 0244 (26) 5424

●デイサービス友遊(北 町) TEL 0244 (26) 5424
●デイサービス友遊(南飯淵) TEL 0244 (36) 3582
●中央児童センター(ポニー・ことり) TEL 0244 (35) 2008
●飯豊小放課後児童クラブ(ひまわり) TEL 0244 (37) 8870
●日立木小放課後児童クラブ(めだか) TEL 0244 (35) 3400
●磯部小放課後児童クラブ(げんき) TEL 0244 (32) 1787
●八幡小放課後児童クラブ(なのはな) TEL 0244 (26) 9011
●相馬こどものみんなの家 TEL 0244 (35) 4700

令和3年度、ふれあいサポート館アトリエの活動がスタートしました。

創立より半世紀のうえ、多くの皆様のご理解とご協力をいただきながら子ども達の情操教育に携わり、心新たに56年目を迎えました。

アトリエはじめ中央児童センター・桜丘小・飯豊小・日立木小・磯部小・八幡小の放課後児童クラブも加わり子ども達が、デイサービスの皆さんと異世代交流をしながらお互いの能力を活かしあいどの世代もイキイキ キラキラ みんないい笑顔で過ごせる居場所作りをデザインして活動しております。

大震災から10年が過ぎ、復旧・復興が進み、震災前と景色も大分変わりました。一昨年の台風19号の被害に加え2月13日の震度6強の地震の被害、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は、不安が残り心痛みます。

一年以上経ってもなかなか収まらないコロナ禍ですが、一年延期でのオリンピックの聖火もスタートしました。

今年度も新しいスタートです。・・・スタッフ一同、心新たに活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。



NPO 法人 ふれあいサポート館アトリエ 紹介

理事長・倉本信之 副理事長・門馬浩之 顧問理事・渡辺雄彦（宮城教育大学名誉教授）

委 託 管 理 事 業

・相馬市中央児童センター

館 長 倉本信之
館長代理 門馬浩之・倉本まり子
主任 門馬美樹 相談員 倉本正子

・ことりクラブ・ポニークラブ
星見旬子・菊池菜津美・佐藤光江
曳地幸枝・門馬日菜・岡崎花奈子・熊川恵子

・おやこきょうしつ 横田尚子・佐藤亜里沙
・もりっこサポート 門馬美樹・森 菜々

・飯豊小放課後児童クラブ(ひまわりクラブ)
佐藤桃子・三村未来・幾世橋典子

・日立木小放課後児童クラブ(めだかクラブ)
立谷良栄・林田千明・阿部幸子

・磯部小放課後児童クラブ(げんきクラブ)
門馬浩之・鈴木三恵子・佐久間浩子

・八幡小放課後児童クラブ(なのはなクラブ)
森 菜々・横山歩奈・安達礼子・佐藤美津子

・相馬こどものみんなの家
稲 昌信・鈴木三恵子

**かいがそうけいきょうしつ
相馬絵画研究所**

・未就学児 水野友美子・倉本まり子
・低学年 倉本まり子・水野友美子
・高学年 門馬浩之・倉本まり子
・陶芸教室 倉本まり子・律子・門馬浩之
・特別授業 倉本信之・倉本郁哉
門馬美樹・水野友美子
齋藤由香里・佐藤幸紀

・アシスタント 荒しおり・村上るい
吉田百合子・倉本いろは

介 護 事 業

施設長 倉本哲哉
管理者 倉本信之・門馬浩之

社会福祉士・生活相談員 倉本正子・吉田千賀
社会福祉主事・生活相談 倉本まり子

・デイサービス友遊(南) 主任 佐藤栄美子
・デイサービス友遊(北) 主任 藤田まどか

介護士 林光子 渡辺則子・高橋美和子
齋藤美子・榎本標・松本やよい・高田幸江

看護師 臺内絹子・臺内久枝・小暮優子・渡部美枝子

・訪問介護友遊
サービス提供責任者 橋本優樹・村上悦子
介護士 菅野ゆかり・黒木昭子・狩野陽子
富田久美子・永田弘美
井戸川久美子・佐藤晴美

・居宅介護事業所
ケアマネージャー 渡邊澄江

・介護タクシー友遊
・イキイキ友遊塾

ギャラリー絵のある部屋

管理者 門馬美樹
学芸員 倉本まり子・倉本律子

常設していますのでお気軽にご来館下さい

長 寿 の 森 園

代表 門馬浩之

南飯淵にある長寿の森園には目薬の木ばかりではなく、果物・野菜が栽培されています。

令和3年度 アトリエ アラカルト

御礼Pt.1 相馬絵画研究所創立55周年を終えて…

記念事業で、北町アトリエ東側に第2アトリエ完成。記念本「命の逆算」版画集「相馬名勝30景倉本信之手彩色木版画集」が出版されました。多くの皆様から、心暖まる応援メッセージやご支援をいただき、大変な編集作業も陰様で無事終了し、想いを形にできました事、感謝申し上げます。

出版本・版画集はアトリエ玄関に置いておきますので、ご自由にご覧ください。



御礼Pt.2 令和2年度 かがいそうけいきょうしつ 修了制作展 第95回「こどものえてらんかい」ウォッチング

一昨年度の展覧会は、コロナ禍のため、予定していた会場のわくわくランドも閉園。延期延期で、結局は北町アトリエのギャラリーに3密になるのを避け教室每展示し、4月18日にお渡しすることができました。その後、例年の4月勉強始めも延期して9月になりました。いつもより少ない時間でしたが、待ちに待ってくれた子ども達に伝えるべく、スタッフ一同、より充実した内容になるよう研鑽し、開講に至りました。楽しく実りある一年でした。そんな中、2月13日(土)に福島県沖地震・震度6強という揺れに被害がたわくわくランドが閉園しているからとの連絡が入り展覧会も危ぶまれましたが、3月7日に開園しぎりぎりの所で実施することができました。長らくコロナ禍の中でしたので一般の鑑賞者は多くはありませんでしたが、日常のアトリエでの造形活動を一挙にみる鑑賞の場を提供できました。

作品の良さがよりひきたつようにそれぞれの絵に色合わせしてパネル張りした作品は、いっそう見事な力作となりました。自分(我が子)の作品だけでなく、絵の発達段階や表し方の違いや工夫等。様々な子供の活動の様子を読み取ることができたのではないのでしょうか。



幼稚園児で絵画教室入所からリーダーの活動を含め、在籍すること20年近かった陽子ちゃん、お母さんになった今でもアトリエで体験したことを子育てに体現しておられて、嬉しく思います。50周年にもご寄稿いただきましたが、今回もご寄稿くださいましたので紹介します。

北風と太陽 続 わたしとかいがきょうしつ

廣瀬陽子(元原町会場教室生・元リーダー 47歳)

私は子どもたちに笑っていて欲しいから、目があえば微笑みかけます。君たちが大好きだよという気持ちを込めて何もないときでもしゅちゅう頭を撫でてあげます。なんでもなくてもいっぱいハグをします。



これは、私が5年前に寄稿させて頂いた時の言葉です。今も変わることはありません。同じ気持ちで、子供たちと過ごしています。こうして子育てについてずっと気持ちがぶれずに子どもたちと接することが出来ているのは私の心の中にずっと「北風と太陽」のお話があるからなのです。子どもたちに向ける温かな太陽の眼差しを教えてくださいましたのは、絵画教室であり、まりこ先生でした。

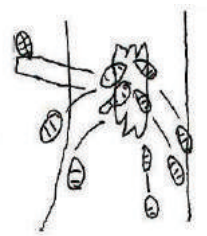
その昔、絵画教室でまりこ先生がよく話してくれたお話の一つに、この「北風と太陽」がありました。育てられる側であった幼い頃には、一つの童話として聞いていた話でしたが、いつしかリーダーとして子どもたちの面倒を見る立場となり、「北風と太陽」のそのお話の意味合いを知るにつれ、キャンプや行事において班の子どもたちへの言葉のかけ方が変わっていったような気がしますし、それによっての子どもたちの反応も違っていくことを、実体験として自分なりに何か感じ大切なことと心に留めていたのかもしれません。だからこそ、その経験やまりこ先生のお話がずっと自分の中に残り、自分が子育てをするときに自然とそのお話の「太陽」のようにありたいと、温かく見守ることをしたいと、ぶれない大きな軸の一つとなり得たのだと思います。とても貴重な経験でした。ほかほか陽だまりのようなあたたかさで子どもたちを見守りたい。幸いにして私の名前には「陽」の文字があるではないか！思わず自分から服を脱いでしまったあの旅人のように、自分から自発的にものを考えたり行動したりすることを認めてあげること、そしていつ何時、どんな状況においても「安心」できる環境を与えられること、そういう存在でありたいとその事を大事にできるだけ心がけてきました。実際に出来ているのかどうか、自信がないことも多々ありますが、それもいつか子どもたちがどうだったか教えてくれるでしょう。

こどもたちはきっと「安心」できる場所や存在があることで自分の居場所を見つけることができ、自分の存在を認めることができるんじゃないか。いわゆる「自己肯定感」って、そういうものなんじゃないかと最近なんとなく思うようになりました。そして、私にとっての安心できる居場所は絵画教室だったわけです。

環境や生活様式は変わっても、親として子どもを想う気持ちやかける愛情は大昔から変わらないはず。とてもシンプルなことと思うのに、今の社会何がそれを難しくしてしまうのでしょうか。

世の中を大きく変えることはできないけれど少しでも温かく優しい世の中になればいいなと願うから、そんな世界で子どもたちが過ごせればいいと思うから、今日も自分の子どもたちに、ほかほか笑顔と安心を贈ろうと思います。

子どもたちは未来だから。

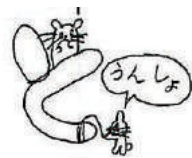


55周年おめでとうございます！今の私があるのは、紛れもなく「相馬絵画教室」というファミリーが、居場所が環境があったからと心から思います。倉本先生、まりこ先生には感謝してもしきれないくらいの思いです。今日までもおかけくださり、本当にありがとうございます。いつまでもお元気で！！

今年度の体験活動は・・・田植え体験と味噌糰子・味噌作り体験

田植えは、水曜日教室・5月12日
金曜日教室・5月14日 に予定していますが
天候の具合では、その翌週になります。

◎持参物は、半そで・半ズボン・タオル・サンダル
汚れものを入れるビニール袋・着替え一式
※いつもの時間内で行います。



昨年は、コロナ禍の中で田植えはできませんでした。新田の高橋珍儀様に苗作りもお願いし田植えをさせていただけるようお願いしましたので上記日程で実施したいと思います。

味噌糰子・味噌作り体験は
2学期に予定しております。

昨年度の活動の様子は
相馬市青少年健全育成
市民会議の会報の
表紙に紹介されました。



当アトリエではこの食文化を絶やさず
継承できるよう毎年行い
今年で31回目になります。